

今月の『一読あれ』

## 本を読むと、いいことが起きるかも？～色々な読書術の紹介

緑濃くなる6月。大学での毎日も落ち着いた頃でしょうか。今月の『一読あれ』は、様々な分野の人が書いた、読書に関する本を紹介します。「もっと本を読みやすい方法を知りたい」「どんな本を読めばいいだろう」「そもそも本を読むメリットって何？」といった問いに答える本を集めました。本の持つさまざまな魅力を知るきっかけにどうぞ。

『なぜ本屋に行くとアイデアが生まれるのか』 嶋浩一郎著 O24/Sh35 2F小型本  
アイデアの発想源として本屋と本を活用させない手段はない。興味を広げる、無理のない本との付き合い方で楽しみも倍増！ネットでの情報検索と本の比較は、読むと「なるほど」の一言です。

『本を読む人だけが手にするもの』 藤原和博著 O19/F56 2F和図書A  
読書によって身につく、人生で大切な2つの力、本嫌いな人でも読書習慣が身につく方法など、本を読むメリットについて、分かりやすく教えてくれる内容です。

『あらゆる本が面白く読める方法：万能の読書術』 一条真也著 O19/I13 2F和図書A  
本へのマイナスイメージをなくす方法、読後に内容を忘れてしまうことへの対処法などを具体的に教えてくれる本。読書との向き合い方にも触れており、技術と思想の両方が身につきます。

『「眼力」をつける読書術』 吉岡友治著 O19/Y92 2F和図書A  
読むことの本質から始め、リーディング・スキルの極意を伝授。これから本を読みたいという方にオススメの一冊です。

『本当に考える力がつく多読術』 園善博著 O19/So44 2F和図書A  
いかに短時間で本を効率化して速く深く大量に読むか、その方法を基本から教えてくれます。

『読んじゃいなよ！』 高橋源一郎編 I081/Ta33 2F小型本（岩波新書）  
大学で学生を教えている作家・高橋源一郎氏がゼミ生に出した課題は、新書を読むこと。ゼミ生の読書感想『私と岩波新書』は率直な文で書かれ、なかにはじんと感動するものも。

『人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。』 千田琢哉著 O19/Se58 2F和図書A  
副題は『20代で身につけたい本の読み方80』。大学に入るまで漫画以外の本を1冊も読まなかった著者。本が苦手な人も読みやすく、この内容を押さえたら世界が少し変わるかも？

『読書の技法』 千田琢哉著 O19/Se58 2F和図書A  
20代で読書の習慣を身につけることで、人生が豊かになる読書の技法を教えてくれる本です。

『教養読書：仕事も人生も読む本で大きく変わる』 福原義春著 O19.04/F75 2F和図書A  
ビジネス教養人を目指していけば、時代の変化にもグローバル化にも強くなると著者が言います。読書から視野を広げ、良書に出会えば仕事も人生も大きく変わるかもしれません。

『ネットがつながらなかったので仕方なく本を1000冊読んで考えた：そしたら意外に役立った』 堀江貴文著 O19/H87 2F和図書A  
2年半の刑務所での刑期中に本を読み考えたことを、著者流の語り口で書いた本。ビジネスの最前線を走る人の考えを知ることは興味深いですし、ブックリストとしても参考になります。

3F中央ホールで展示中！  
貸出できます